

東北ハイテク研究会

ニュースレター (No.45 2020.10)

(東北農食産学連携ネットワーク)



ニュースレター第45号では、一般社団法人日本雑穀協会が主催し、東北ハイテク研究会が共催しました『雑穀セミナー』の様子をお伝えします。本セミナーでは、当研究会の中核コーディネーターである星野次汪さんが講師を務め、岩手大学農学部附属寒冷フィールドサイエンス教育センター（滝沢農場）からリモート配信されました。ビデオからとった映像であるため、あまり鮮明ではありませんが、雑穀の生産・収穫の様子が良くわかると思います。



雑穀協会中西事務局長の進行でセミナー開始



岩手大学滝沢農場教授として活躍した星野 CD 登場



現在はコンバインでの収穫が一般的



昔は手刈りで天日で干していた



ヒエの脱穀の様子



粒が細かいヒエの脱穀作業は手間がかかる



粒のまま、もしくは製粉され、
商品として出荷される

